

ご依頼内容確認書 (案)

神奈川県足柄上郡山北町山北 2833

山北町森林組合

電話 0465 (75) 3955 FAX (42) 9905

行事名：西丹沢見学会 目的：水源環境保全税と森林組合・土砂発生現場

ご依頼者(領収証宛先)：アジア航測株式会社 様

実施日：平成29年1月28日(土) ご参加者氏名 大森正昭含み、男20名：女4名

予定時間 (所要分)	行程内容 現地事情による変更あり	解説内容 担当	そちらでご手配 いただく内容	経費：お 支払方法
9:00	顔合わせ(日程・資料配布)	自己紹介	案内料10,800円	現金
9:15~10:15	中川川上流：白石沢	溪畔林事業		
10:30-11:15	箒沢荘カフェ(町の紹介等)	坂井		各自支払
11:30-12:15	世附川上流：崩落現場 林道復旧状況	土砂発生 森林組合		
12:30-13:30	昼食：丹沢湖周辺飲食店	水源環境税		各自支払
13:30-14:00	質疑応答・懇談 三保ダム：ダムと地域	と森林 森林組合	ダムカード：希望者	
14:10-15:10	玄倉川上流：小菅沢(土砂) 向沢：20年契約終了地	土砂・水源林 森林組合		
15:20-15:40	玄倉：高度処理型浄化槽	水質対策		
15:50-16:10	火山灰崩落現場：山市場	坂井		
16:30	休憩：道の駅	西丹沢 坂井		お買い物
16:30	終了地：山北町森林組合			

【注意事項】

- 森林や河川には都市部にはない危険が存在します。事前に周知徹底し、注意を促してください。
 - 山は足元が不安定で滑りやすいところがあります。滑りにくい足に合った靴を履いてください。
 - 崩落した地点付近には近寄らないでください。
 - 山には春から秋までヤマビルがいます。足首の上まである靴下をはき、忌避剤をスプレーしてよい靴でご参加ください。ハチなどの虫もいます。刺激しないよう、黒っぽい服装は避け、また近寄ってきてもむやみに動かず、じっとして飛び去るのを待ってください。
 - 林業現場に入る場合は手袋や手ぬぐい等をご準備ください。帽子・飲料・防寒等の対策もお願いします。
 - 河川の増水や天候の急変、自治体からの避難勧告や指示が出た時は、即時に中止します。
- 道路凍結等危険が予測される場合、車輛を止め、徒歩による移動をお願いすることがあります。
- 保険加入などは、事前に貴団体にてお手続きください。

注意事項を確認し、以上の内容で依頼します。

平成 年 月 日 ご住所 豊橋市中野町字平西1-6

団体名 矢作川流域圏懇談会(事務局：国土交通省豊橋河川事務所)

連絡先☎(ご担当)事務局 大森、宇野(0532-48-8107)

事務局補佐 アジア航測(株) 中田、石原

開催概要

1. 【ご要望】

- (1) 水源環境保全税の事業地
 - ・ 溪畔林
 - ・ 水源林
 - ・ 林業、搬出
 - ・ 土壌保全(スコリア・県有林)
 - ・ 水質対策
- (2) 三保ダムの土砂流入状況
 - ・ 対策と上流の状況

2. 【ご依頼者】参加者を募集中

3. 【各事業概要・第2期5か年計画概算額・(主な事業内容)】

- (1) 水源の森林づくり 67億4900万円(一般競争入札、長期施業受委託、森林塾)
 - ・ 後継者問題
 - 森林塾卒業生
 - 世代交代
 - 平成39年度以降も残る条件
 - ・ 平成39年度以降の展望
 - 所有者の意識
 - ・ 地代
 - ・ 林家と森林組合の役割
 - ・ 森林経営か伐採業か
 - ・ 時代の流れ
 - ・ 将来展望 木材価格と需要創出、材の品質確保
 - ・ 一般会計との関係 林業職の意識と育成 フォレスター不在 経営とも林学とも乖離
 - ・ 土壌保全 丹沢という山の成り立ち、宝永の火山灰
- (2) 丹沢大山 12億8400万円 (山ゴミ、土壌流出、ワイルドライフレンジャー)
 - ・ レンジャー：一般競争入札の1年契約
 - ・ 土壌流出対策、リター調査、ブナ林調査と薬剤使用(堂平)
- (3) 溪畔林 8000万円 (県有林内溪畔林のうち、杉の人工林)
 - ・ 間伐、鹿柵、丸太筋工
 - ・ 試行の後、整備の手引き作成
- (4) 搬出促進 12億8500万円 (日本一高い搬出助成金)
 - ・ 日本一高い搬出コスト 作業道指針がない山
 - ・ 流通一加工の川上から川下のプロセス破壊
 - ・ 平成39年度以降に向けた対策の担い手

- (5) 地域水源林 31億4000万円 (県がお金を出して市町村が整備する)
- ・進む市町村の林務担当者の手薄
 - ・県に依存する体質が定着
 - ・県が整備した森林への見回り手薄
 - ・第3期の予算拡大
- (6) 河川・水路の自然浄化 17億7100万円 市町村に指導・助成する
- ・ダム下から取水堰までの浄化、浄化槽助成
 - ・ダム下から取水堰の間の下水道整備見直し地区まで含む
 - ・H25 整備指針による整備
- (7) 地下水 3億2200万円 (秦野、箱根、足柄平野)
- ・秦野盆地 (過去の調査と現在の対策)
 - ・温泉地学研究所の調査 (足柄平野)
 - ・温泉地学研究所の支援 (箱根町)
- (8) ダム集水域の公共下水道整備促進 13億7100万円
- ・過疎地で本来進めるべき事業の縮小が進まない
 - ・ダム下との不整合
- (9) ダム集水域の高度処理型合併処理型浄化槽 20億7600万円 (高度処理型の100%普及)
- ・相模川と酒匂川のダム上流域の人口の違い
 - ・相模川水系のダム湖と丹沢湖のダム水質の違い
- (10) 相模川水系上流域 3億6500万円 H24～ 山梨県への助成
- ・森林整備の半額
 - ・桂川清流センターの脱リン装置
- (11) 水環境モニタリング 8億5700万円
- ・自然環境保全センター 対照流域法 4か所
 - ・環境科学センターの生物調査
 - 他にセンター独自に化学物質調査
- (12) 県民参加 2億3000万円
- ・県民会議
 - ・フォーラムチーム
 - ・コミュニケーションチーム
 - ・モニターチーム
 - ・施策調査専門委員会
 - ・市民事業専門委員会

